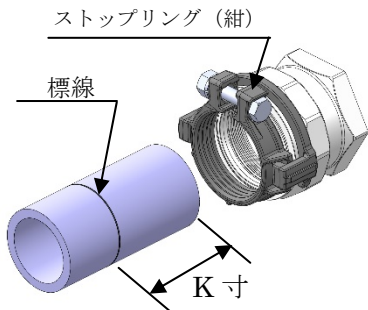


SKX® (中口径) 施工手順 (塩ビ管用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、標線を記入して下さい。

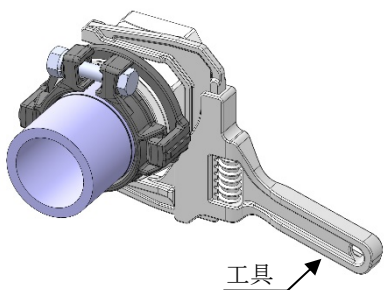
分解せずにそのまま標線まで挿し込んで下さい。



注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。

②キャップ本締め

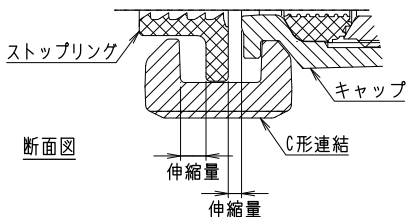
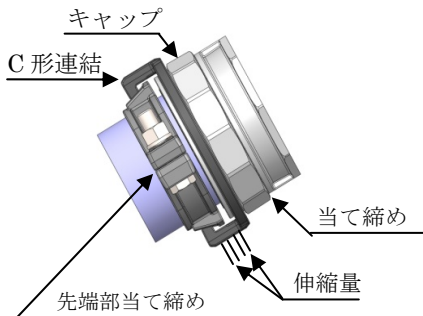
標線とストップリングの端面を合わせた状態で、キャップを手締めしてパイプを固定した後、レンチ等の工具で、キャップを当て締めして下さい。



③ストップリング本締め

C形連結を中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。

両端に伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。



注 2)ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損などの不具合が生じることがあります。

注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注 4)再施工時は再施工手順書に従って下さい

④施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの締め忘れのないように確認を行って下さい。

《管の取り外し》

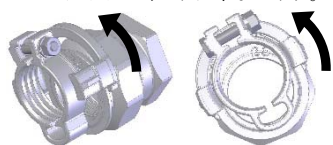
・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩めるだけで管と分離可能です。(分解不要)

管 呼び径	SR 呼び径 (紺)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm) +10/-0	キャップ 〔参考締付トルク〕 N・m	ストップリング 〔参考締付トルク〕 N・m	六角 対辺
65	V 65	65	80	当て 締め	(30)	19
75	V 75	75	85		(45)	
100	V 100	100	90		(70)	

SKXストップリング (SR) 交換手順

①C形連結取り外し

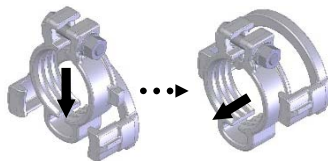
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



③ストップリング交換

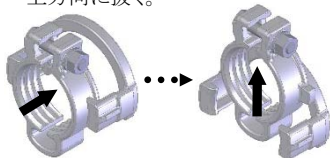
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

